

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズハウスなごみ家		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療法を取り組む為にワンフロアのスペースでご利用児達が広々と活動が出来る様になっており、また屋外スペースも確保しており、フェンスで囲まれている分、少人数での活動等が取り組めるスペースも確保されております。	活動スペースを確保するために、壁側にテーブルや棚を設置しており、四角型のボックスであり、指導員の死角を取りなぞいております。	運動療法以外の場合、広いスペースがあるとどうしても走りたがる児童も居られる為、その際は机の位置を変える等で走れない環境を作りつつ、室内では走り回らない支援を取り組んでおります。
2	運動療法を取り組むにあたり、外部の先生をお招きして、30分間のレッスンを取り組んでおり、普段、使わない身体を部分を動かしたり、月間目標を立てて、姿勢やバランス感覚等を育ててまいります。	日頃の指導員が取り組むより、外部の先生がレッスンをしてくれる事でいつもと違う雰囲気作りが出来、ご利用児達にも切り替えがしやすい様に工夫しており、先生方も知識がある分、ご利用児さんの取り組みやすい内容でレッスンを取り組んでいる。	1名の先生でご利用児を全体的に対応するのが難しい為、指導員がサポートにまわり、円滑にレッスンが取り組める環境を作りつつ、難しい動きに等には指導員がサポートする等して質の高い、運動療法を取り組んでおります。
3	オンライン研修を取り組んでおり、指導員が好きな時間に集中して研修を受けれる様に環境を整えて、指導員の質を高めつつ、様々な知識をもって、支援にあたっております。	指導員がオンライン研修を受ける事でその場で他の指導員に確認が取れたり、好きなタイミングで見れる事からも集中して知識の蓄える事が出来る。同じ内容を見る事で指導員同士の共有にもつながり、支援の質を高めて、療育を取り組んでおります。	オンライン研修で学んだ事を実際の支援に取り組み中でどうしても個々によって、受け取りが変わってくるので指導員が一人で考えるのでは無く、全指導員が1チームとして支援に当たる為に、話し合いの場をより多く、設けて情報共有をすると共に、支援の質を高めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動療法を取り組む為にワンフロアでの構成となっておりますがご利用児がパニックやクールダウンする時に完全隔離をするスペースが限られている。	ワンフロアであり、指導員の死角をなくす為に、壁等の隔てりが無く、パニックになった時やクールダウンをする際に他のご利用児等の目が届いてしまい、落ち着くまでに時間がかかってしまう。	室内に簡易テントやカーテンを用いて、隔離スペースを確保しており、近くで指導員が見守る事で他のご利用児等が近く事を防ぎ、落ち着ける環境を整えております。
2	トイレの場所が1つしか無く、職員もそこを利用している。	建物の構成上、トイレが1か所のみになっており、ご利用児が一斉にトイレにいけな場合もあり、我慢させてしまう事もあったり、ノロやインフル等が流行る時期には感性の原因になりうる場合も想定される。	トイレが1か所しか無い分、ご利用児達には事前に声掛けを行いつつ、効率よく、トイレに行ってもらい、あまり我慢させない対応をしております。また、ノロやインフル等の疑いがある場合や流行時期には定期的にトイレ消毒を行い、感染を未然に防ぐ対応をしております。
3	送迎先のお迎え場所が比較的が多い分、送迎の指導員が取られて、室内での対応の質が低下している時期もあった。	地域の学校のご利用児が多数居られたる為、送迎先が多くなつてしまい、時間帯によっては指導員が大勢、送迎に出る為、室内に残る指導員への負担もあり、その間の支援がおろそかになる事もあった。	送迎先が多い事でお迎え人数がたくさん必要でしたが、少しずつ送迎先を限定的にする中でお迎え先を調整しつつ、室内の指導員の数を確保しており、新規のドライバーさんや指導員が増えた事で問題も解決しつつあり、今後も送迎先を限定的にしつつ、指導員不足が起こらないように対応しております。